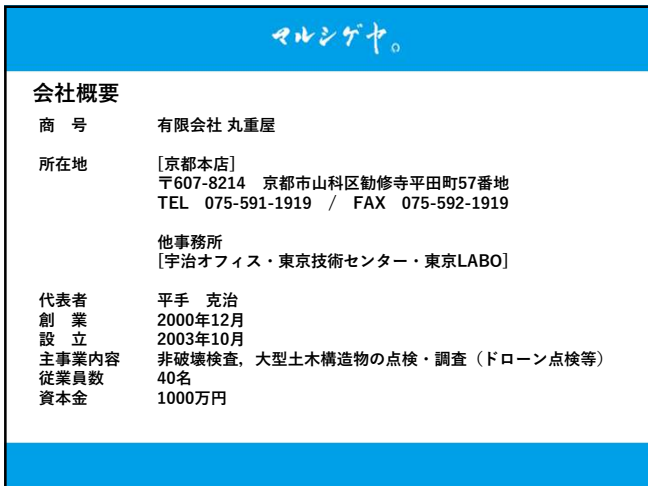


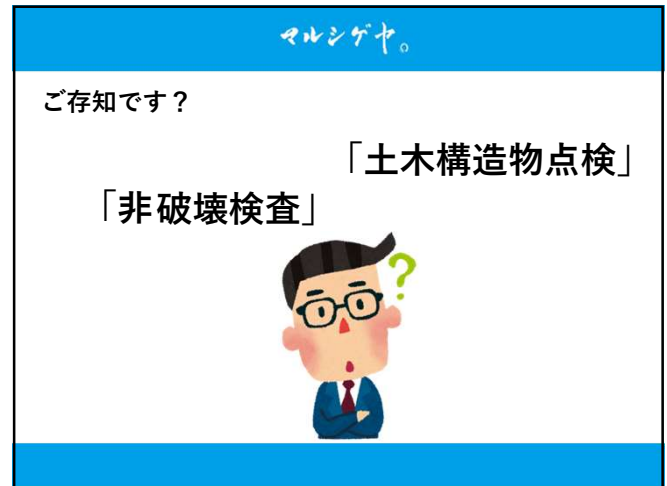
1



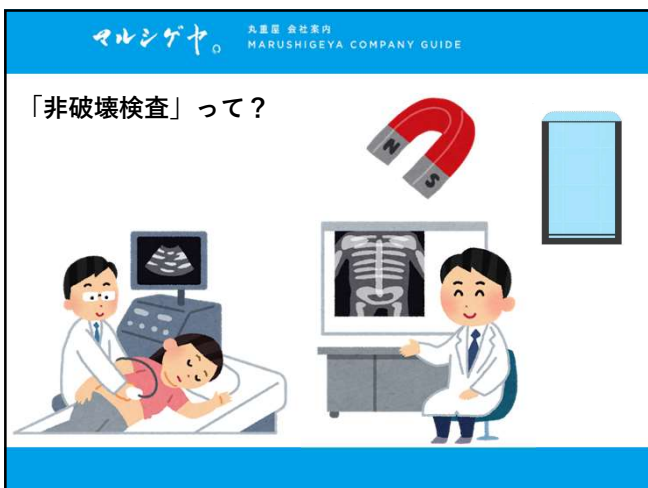
2



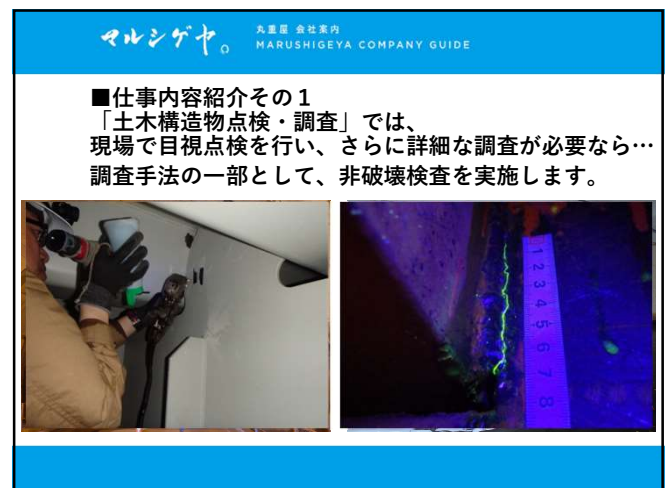
3



4



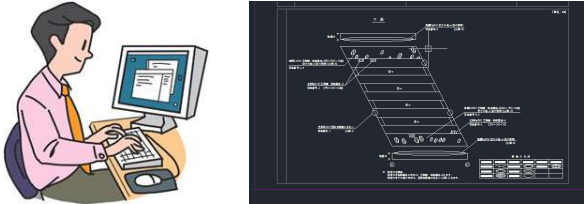
5



6

マルシゲヤ。

■仕事内容紹介その2
現場の情報をもとに点検調書（カルテ）を作成します



7

レジリエンス認定を取得しよう
考えたきっかけ

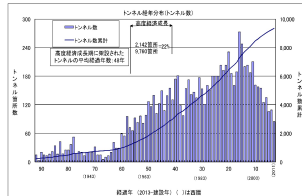
8

マルシゲヤ。

なぜ、土木構造物点検が必要なのか？

道路トンネル施設

我が国の道路総延長は、約127.9万kmであり、地球32周分に相当します。2019年3月末現在、高速道路、国道、都道府県政令市、市町村道をあわせた全国のトンネル数は11,215本です。



道路トンネルは、全トンネル数の約22%が高度成長期に建設されています。建設後50年以上経過したトンネルは、10年後には現在の約2倍、20年後には約2.4倍に、30年後には約3.3倍に達するなど、今後の高齢化が集中的に進むことになります。

国土技術政策総合研究所：平成25年度道路構造物に関する基本データ集、2015。

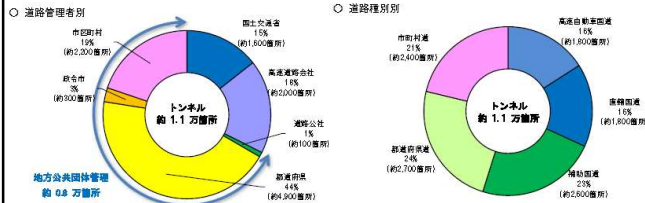
9

マルシゲヤ。

なぜ、土木構造物点検が必要なのか？

道路トンネル施設

我が国にはトンネルが約1.1万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約0.8万箇所と、約7割を占めています。



○ 道路管理者別

国土交通省	15%	(約1,600箇所)
高速道路株式会社	15%	(約2,000箇所)
酒井公社	1%	(約100箇所)
郡連合会	4%	(約200箇所)
地方公共団体管理	約65%	約0.8万箇所

○ 道路種別別

高速自動車国道	1%	(約1,800箇所)
普通国道	1%	(約1,800箇所)
増設国道	2%	(約2,800箇所)
都道府県道	2%	(約2,700箇所)
市町村道	21%	(約2,400箇所)

出典：国土交通省道路局：道路メンテナンス年報、2019。

10

そのような時代背景の中
まさかの出来事があって
しまいました

11

マルシゲヤ。 丸重屋 会社案内 MARUSHIGEYA COMPANY GUIDE

笹子トンネル天井板落下事故 2012年（平成24年）12月2日

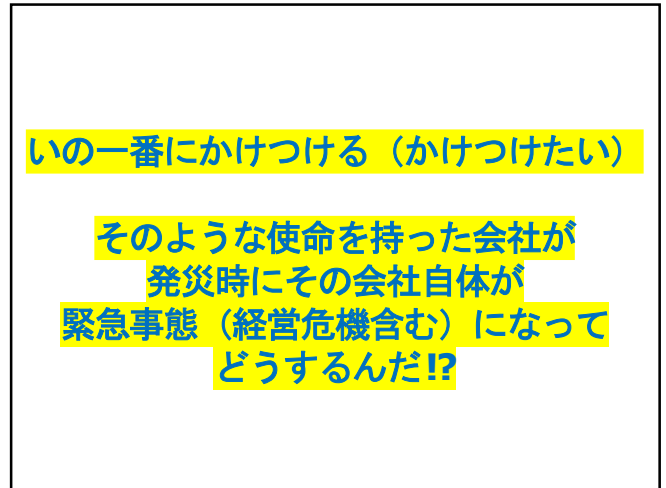


(山梨県大月市消防本部)

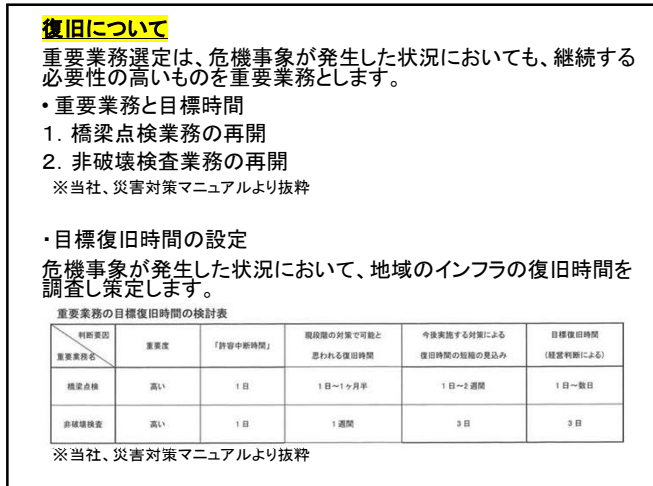
12



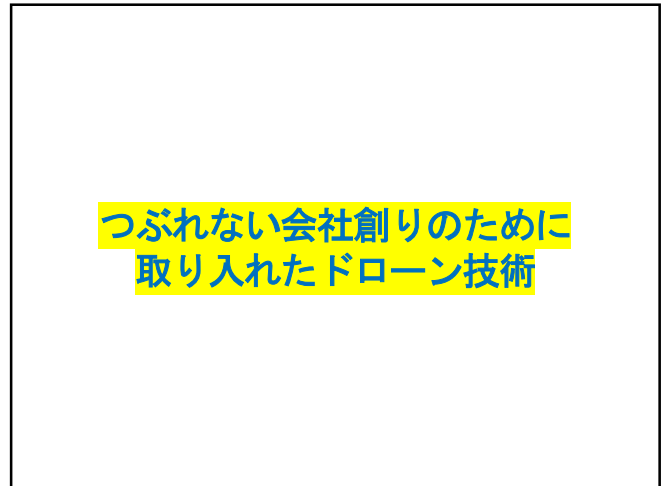
13



14



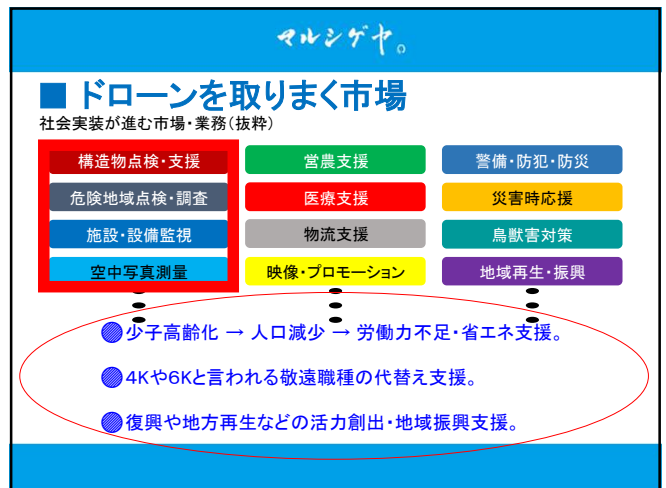
15



16



17



18

マルシゲヤ。

■ 当社のドローン技術の発展

橋梁点検におけるドローン技術の活用



ドローンを使った点検風景

19

マルシゲヤ。

■ 当社のドローン技術の発展

橋梁取付け部における「ICT土工」



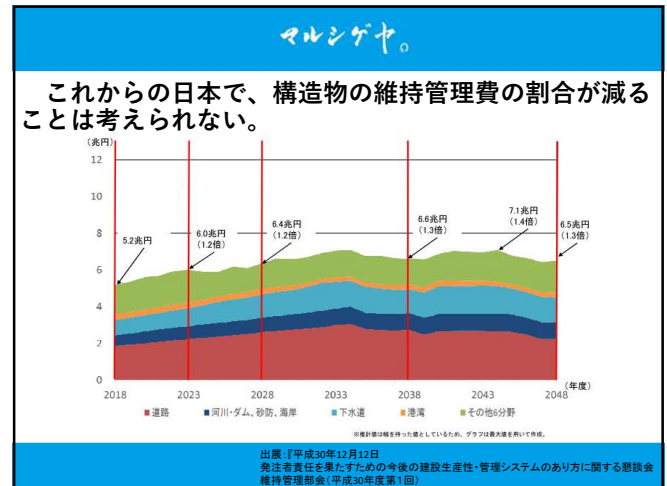
- ・情報化技術を駆使することで全工程において作業の効率化ができる。
- ・急峻な地形でも安全に測量作業できる。
- ・正確な土量が算出できる。
- ・現場を立体的に把握できるので、経験の浅い若手技術者にも容易に現場を理解でき、問題点を早期に発見できる。

20

情弱であった会社...

先を見通す力を醸成する

21



22

マルシゲヤ。

さいごに

昨今のコロナ禍のような一過性の因子に影響を受ける会社からの脱却！

レジリエンスの概念を取り入れることを契機に恒久的なモノ・コトを今一度見直し

新技術の活用（オープンイノベーション等）や情報の交流等により、想定外を無くし、既知とすることで

より粘り強く、しなやかな企業体質（企業マインド）を獲得でき
経営体力の強化を図ることができる！

23

マルシゲヤ。 丸重屋 会社案内 MARUSHIGEYA COMPANY GUIDE

ご清聴ありがとうございました



24